

8/29 シグマ委員会幹事会議事録

日 時： 昭和42年8月29日 1.00PM~6.00PM

場 所： 原研本部第2会議室

出席者： 百田，中島，飯島，坂田，五十嵐，菊地（士）

議 事：

1. 42年度予算の運用について

先有天引きした今の予算が解除になる。その用途について各グループの希望を取つていたが、それ以前に核物1からカードキャビネットと電動計算機を購入する旨申し入れておいた。予算の裏付けはシグマの計算費振替えである。

坂田委員からシグマ関係の部屋が取れるようならファイリングキャビネットを購入したい旨要求があつた。部屋については可能性があり、主査が交渉することになつた。部屋が取れることを前提として器材類の要求をまとめ、9月末日〆切として解除分の用途を決める。

2. 43年度予算要求に関する経過

データセンター設立構想にそつて43年度の予算要求を提出したが、局の内示額が1800万円で認められた。これに基づいて研究員1名の純増が可能となり人選を進めることになつた。出来れば evaluation の出来る人、巾の広い人、経験のある人が良い。

データセンター設立については原子力学会長から原子力局長に、NAIG, MAPI, 日立の三メーカー研究所長から原研理事長にそれぞれ要望書が提出されている旨報告があつた。

3. 測定データのリクエストについて

E A N D C・66のリクエストリストは未だ出来ていない。イスタンブールの会議の際、その時点までのリクエストについて分類、比較したものが提出された。J N D Cニュース№5で紹介する。

現在J N D Cに來ているリクエストが4～5件ある。

各人手持ちのリクエストを提出してもらおう、J N D Cニュース№5を配布する時に通知を同封する。リクエストのformを決めて配布することを考える。×切は各グループ会合の半月後位。

4. 委員会の成果発表についての取り扱い。

委員会の仕事と委員所属箇所の仕事との関係について案が提出され討論が行なわれた。幹事各人で検討し案を出してもらうことになった。

5. その他

C C D NのColvin が辞めたいきさつについて報告があつた。核構造国際会議で來日するWay と Schwarz との話し合いについて方法を討論、百田主査と中島委員で決めることになつた。

B N L-325 II Cの活用を考えたい。J N D Cニュース№5で紹介してある。

Nuclear Data for Reactors (Paris Conferenceの報告)が紹介された。

6. 次回委員会9月末